

新スポ連リーグ戦運営規則

《試合前の注意》

1. チームは試合開始15分前にメンバー表3部を審判に提出する。審判は、メンバー表のチェックをし、両チームのメンバー表の交換を行う（メンバー表提出は必須）
2. 出場選手は、選手登録をした選手に限る。登録選手であれば、背番号が登録と違ってても出場を認める。但し、審判への報告を義務付ける。
3. 試合中の万一の負傷等については、各チームにて処置をする。
4. ベンチは、組み合わせ表左欄のチームが1塁側とする。グラウンド内は禁煙とする。
5. 試合前のウォーミングアップは、前試合の5回終了時または前試合開始後1時間経過後のいずれか早いときより外野ファウルゾーンにて4名までが行うことができる。

《競技方法》

1. 競技は7回戦とする。但し、回数に関係なく1時間20分を越えて新しいイニングに入らない。時間切れ及び7回を終わって同点の場合は引き分けとする。

注：王座決定戦、ZETT杯準決勝・決勝戦の試合については、以下を適用する。

- 1) 準決勝：回数に関係なく、1時間30分を越えて新しいイニングに入らない。
また、時間を余して7回終了し、同点の場合は、時間内延長を行い、それでも同点の場合は、設定ゲーム（一死満塁、継続打順、サドンデス方式）を行う。
- 2) 決勝戦：時間制限は適用しない。7回を終わって同点の場合は、9回を限度として延長戦を行い、9回終わって同点の場合は設定ゲーム（一死満塁、継続打順、サドンデス方式）を行う。
2. コールドゲームは、5回終了時に7点差以上となった場合とする。日没・降雨の場合は、4回終了時に試合が成立したものとし、勝敗を決する。
3. 競技規則は、2022年度公認野球規則並びに新日本スポーツ連盟の取り決め事項を適用する。また試合球は、公認M号ボールとする。
4. 指名打者【D・H】制（投手のみ）を採用することを認める。公認野球規則では「指名打者は相手チームの先発投手に対して、少なくとも1度は打撃を完了しなければならない」とあるが、当連盟では、1度も打撃が完了していなくても交代あるいは解除が出来ることとする。
5. 走者が捕手のサインを盗み、打者に球種やコースを知らせるなどの行為を禁止する。
6. ユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ストッキング・アンダーソックス・ベルトは、チームで統一されたものとする。（スパイクは統一しなくてよい）ユニフォーム等統一されていない選手は退場処分とし、それによりチームにメンバー不足が生じた場合、そのチームは不戦敗とする。※（刺青タトゥー等は露出してはいけない）
7. 打者・走者はヘルメット、捕手は捕手用ヘルメット・プロテクター・レガースを必ず着用する。
8. 試合中の審判へのストライク、ボール、セーフ、アウト、フェア、ファウル等ジャッジに対する抗議、また、選手、審判に対する個人攻撃・暴言・野次または非スポーツマン的行動及びプレーは厳禁する。ルールに関する質問は、監督、主将及びプレーの当事者に限る。

*当連盟は、「みんなが楽しめる野球」を目指して活動しております。審判や相手チームの気持ちも考えて試合を行っていただきたいです。場合によって、役員が当団体に相応しくないチームと判断すれば、何らかの処分を受ける可能性があります。

《試合後の注意》

1. 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をする。
2. 次試合のためのライン引きは勝利チームが行う。
3. ベンチ内外のゴミ拾いはチームで責任をもって行う。

《その他注意》

1. 運営、試合結果の記録及びグラウンド管理は、当番チームが責任をもって行う。
2. 不戦敗をしたチームは、1試合につき10,000円を協議会に納付する。納付のない場合は、以後の試合を組まない。不戦敗を3回したチームは、役員会の裁定によりリーグからの除名を勧告する場合がある。除名処分を受けたチームは、翌月よりリーグに参加できない。また、翌年のリーグに参加できない。
3. シーズン中の選手追加登録は、事務局で受け付け、役員会の承認のあった翌月より出場することができる。
4. 理事会を3回欠席したチームは、役員会の裁定により除名を勧告する場合がある。また、理事会に遅刻した場合はペナルティとして1000円を協議会に納付し、遅刻2回につき1回の欠席扱いとする。なお、理事会欠席の場合のペナルティは3000円とする。
5. 交流戦
練習試合扱いにより勝ち点は加えられない。ただし不戦敗となった場合は、罰金1万円及び敗戦数1、勝ち点-2点が加えられる。選手登録されていない選手でも出場可能（ユニフォームは統一されたもの）
6. シーズン途中で退会したチームが出た場合は、それまでの対戦結果はそのまま反映され、未対戦のチームは全て不戦勝とする。勝利数1、勝ち点3が加えられる。（不戦勝の場合、スコアは7-0）
7. 試合中及び試合以外での事故あるいは怪我についての一切の責任は、各チームの責任に於いて処置して下さい。（スポーツ保険等の加入を推奨）
8. 選手以外の者が、ベンチ内に立ち入ることを認めるが、子供などが危険と思われる会場の時は、立ち入りを禁止することがある。
9. 試合前整列時に統一されたユニフォームで9人揃っていない場合は不戦敗とする。（その場合スコアは0-7とする）
10. 控え選手を使いきった後、出場選手が負傷などで出場続行が出来なくなった場合、主審および両チームの当日責任者との協議で認めた場合のみ、一度退いた選手を、再度出場させることを認める（リエントリー制）。負傷者が出て、9人で試合が続行できない場合は、そのチームを試合棄権扱いとする（スコアは0-7、勝ち点減点および罰金は無し）

● レジェンドリーグについて

- ・ 令和4年4月1日時点で39歳以上の男性選手と、女性選手（年齢制限なし）で構成されたチームで、ユニフォーム統一は義務付けない。
 - ・ 従来のリーグ戦と同じ要綱、ルールで行うが、DH制については、野手でも認めることとする。年会費は、リーグ総当たりの試合とOver40大会をあわせて25,000円。（また、Over40大会については、開催約1か月前に大会要項を作成し配布する）
 - ・ レジェンドリーグの優勝チームは王座決定戦の出場権の権利
→ 一般リーグと選手が被って出場できない場合は辞退も可（2位以下には権利無し）
- *王座決定戦に出場する際は、ユニフォーム統一は義務付ける。